有年中学校 学校だより



明

校訓

くさ川

第 37 号 2025.6月 編集 校長 勝谷英策

学校教育目標

「志高く、学ぶ意欲と思いやりの溢れる生徒の育成」 ~夢の実現に、明るく、やさしく、勇気をもって挑戦し続ける~

過ごしやすかった6月と夏の不安

6月は比較的過ごしやすい日が多かったと 思います。6月は水無月(水の月)と言うように 月の半分くらいは曇りか雨だったように思いま す。大雨もなくて落ち着いて学習できました。



ただ、月末になって梅雨明けの情報があり、 7月はどうなるんだろうか。水涸れや、稲がうま く育つかといった不安がよぎりました。

心配しても仕方が無いので、対策を考えるこ とが大切です。ある方は今から大豆も育てると 言っておられました。大豆を育てるにも水が必 要なことには変わらないのですが、できることは やっておくことが対策なのだと思います。

6月の活動

2年自動車整備 体験(6/5)

中山善博さんを 今年も講師にお招

きして自動車整備体験の授業を開催しました。 例年より、軽トラックの本体部分を本格的に 分解して組み立て直すという作業内容でした。

内心、「大丈夫かな~?」と思っていたのです が、「2年生が協力的に行動してくれたのでス ムーズにでき、本当にたのしかった」と話してく ださいました。



(荷台を完全に取り外して、各部の説明)

さつまいも植え付け(6/6)

|年生が技術の栽培の 授業で、さつまいもの苗の 植え付けをしました。

東有年の岩本自治会長 さんにお願いをして今年は 田んぼを使わせていただき ました。

苗が弱っていたので何本 が無事に活着するか心配で すが、たくさんできることを願ってます。



3年絵手紙教室(6/9)

手紙を書くことも

少なくなってしまった現在ですが、有年中学校 では毎年、絵手紙教室を開催しています。

筆を使って和紙のはがきや色紙に絵と文を 書きます。どの作品も機械で創ったものには無 い、味わいや思いが込められた作品に仕上が りました。授業以外でも手紙を書いてくれたら いいなと思います。





カウンセラー研修(6/26)

自分のことを一番知っているのは自分のは ずですが、意外に解していないことが多いもの です。立ち止まって、自分の思いや考え方を見 直し、相手との接し方について考える時間をと ることは大切なことだと思っています。



部活動壮行会と赤穂市総体(6/27~29)

28日から始まる赤穂市総合体育大会に向けて部活動壮行会が行われ、各部活動の主将が大会への意気込みや目標を語ってくれました。



3年生にとっては最後の大会となる大切な大会です。これまでの練習や取り組みなど様々な思いが巡っていると思います。

どれだけやっても悔いは残るものですが、今できることに全力を尽くすことができれば大成功だと思います。今年は赤穂市で県総体の開会式が開催されます。是非、勝ち進んでほしいと思います。



大会結果

【野球】

| 回戦 有年・坂越・赤穂東 4-4 赤穂西 (9回タイブレーク 4-5)

2回戦 有年·坂越·赤穂東 3-8 赤穂 【ソフトテニス男子】団体:惜敗

> 個人:9位 潮海・平尾ペア 柳原・有政ペア

【西播大会出場】

【ソフトテニス女子】団体:惜敗

個人:3位 山路・山本ペア

【西播大会出場】

【卓 球 女 子】団体:2位【西播大会出場】

個人:1位 村上、2位 桑原

【西播大会出場】

「有年中学校規模適正化協議会」の動き

赤穂市では 5 年ごとに学校適正規模・適正 配置について見直しをすることになっています。 前回は令和2年に各小学校区から統廃合反対 の要望書が提出されました。今回、見直し時期 がせまっていますので、昨年度から、有年中学 校区でも協議会を設置し検討してきました。

近隣市町では学校統廃合が行われており、「赤穂市でも・・・」と思われるかもしれませんが、2025年4月時点で、統廃合を進めた上郡町、佐用町、たつの市と比べると、市民一人あたりの学校数は赤穂市の方が少ない状態です。

このような状態で学校数を減少させることは 赤穂市の教育力の減退に繋がりかねません。

赤穂市の未来の発展のためにも、今回の見直しについて、学校の存続を要望する書面を提出することになりました。

7月の行事予定

2日(水)薬物乱用防止教室

9日(水)地区懇談会

11日(金)給食最終日

12日(土) 〕

13日(日) 上西播総体

14日(月)-

15日(火)-

3年課題テスト

16日(水) → ► [18日(金)終業式

21日(月)海の日

22日(火)夏季休業(~8/31)

26日(土)PTA 合同講演会

(29日(火)- 兵庫県総体